

特別委員会の中間報告(要旨)

今臨時会において、交通網・都市基盤整備調査特別委員会、子ども・子育て支援対策調査特別委員会、災害・オウム対策調査特別委員会及びエリアデザイン調査特別委員会が中間報告を行いました。

交通網・都市基盤整備調査特別委員会

本特別委員会は、交通網の整備及び誘致促進並びに都市基盤整備に関する調査研究を進めてきました。

都市交通施策について

公共交通空白地域等への対応として計画された花畑地域でのバス交通検証運行は、本格運行の実現性を高める条件設定が実現しました。今後も事業者との着実な調整が求められます。

一方で、バス便数の減少等の課題も多く、引き続き、バス路線網及び交通広場の整備、新たな交通サービスの実現を進めることが求められます。

北綾瀬駅周辺の整備について

令和2年12月に北側改札口が供用開始となりました。今後も、北綾瀬駅周辺交通環境改善計画及び駅周辺まちづくりは、進捗状況を見守る必要があります。

竹ノ塚駅付近の鉄道高架化及び駅高架下利用について

令和2年9月に上り急行線の高架橋が使用開始となる等、着実に工事は進捗しています。今後も鉄道事業者との連携等で早期完成を目指すとともに、駅前

広場や街路の整備、駅高架下利用等、区民の生活に資する施設の誘致に努める必要があります。

鉄道路線網の強化等について

環七高速鉄道及び地下鉄8号線の実現のため、今後も交通政策審議会答申に示された課題の整理と問題点の検討、早期実現に向けた促進大会等を強化し、地域の機運醸成を図る必要があります。一方、日暮里・舎人ライナーは東京女子医科大学附属足立医療センターの開設に伴い、都交通局に対して混雑緩和を要請し続ける必要があります。

本特別委員会は、鉄道及びバス路線網の誘致・拡充、都市基盤の整備・充実に向け、調査研究を続ける必要があります。

子ども・子育て支援対策調査特別委員会

本特別委員会は、子ども・子育て支援対策に関する調査研究を進めてきました。

保育ニーズの把握について

区は令和3年3月改定の「足立区待機児童解消アクションプラン」で、実情に即した地域割りの見直し等を行いました。このことは評価すべき点であり、今後も保育ニーズの変化の的確な把握を求めます。

また、適正な保育定員数を確保・維持するために、保育事業等への継続的な支援が必要です。

教育・保育の質の向上について

教育・保育施設の整備が進み、利用機会の拡大が期待される中、適正な運営を確保するには指導

検査の拡充等が重要です。特に、時間をかけて議論を行った社会福祉法人南流山福祉会の問題は、当該法人本部の移転に伴い所轄庁が足立区になることから、今後、区が主体となり同様の問題を発生させないことを、強く要望します。

子どもの貧困対策について

「未来へつなぐあだちプロジェクト」足立区子どもの貧困対策実施計画」の第2期実施計画で、中学卒業後の若年者支援等を新たに盛り込みました。貧困が世代を超えて連鎖しないよう、引き続き環境整備を求めます。



臨時会の様子

妊産婦支援について

区は妊娠前から子育て期まで切れ目のない支援を地域と協働で実施し、令和2年度からは「デイスーパー型産後ケア等が新たに始まりました。今後は各事業の対象者拡大、支援体制のさらなる充実を望みます。

健やかに成長できる環境整備等を目指しています。子どもを産み、育てる喜びが実感できる社会を実現するため、調査研究を続けていく必要があります。

災害・オウム対策調査特別委員会

本特別委員会は、災害対策、放射能対策及びオウム真理教(アレフ)対策等に関する調査研究を進めてきました。

災害・減災対策について

令和元年台風19号の際、江東5区大規模水害広域避難計画で対応できない多くの課題が浮き彫りとなりました。区は、要支援者対策部会を立ち上げ、避難行動要支援者の把握や避難場所の確保について検討しています。当委員会でも、様々な課題を指摘しており、継続的に進捗状況を注視する必要があります。

地域防災計画の見直しについて

区は足立区防災会議への付議を延期しました。新型コロナウイルス感染症対策等、様々な課題や改善策を盛り込んだ地域防災計画が、スケジュールのおり進捗することを強く求めます。

地区防災計画の策定について

災害から区民を守るために、区は高齢者や障がい者等の意見や踏まえた配慮をすとも、町会・自治会だけでなく、若者や女性、事業者等を含めた地域全体と連携して活動することを要望します。

オウム真理教(アレフ)対策について

これまでの様々な活動が実を結び、令和3年1月6日に公安審査委員会による観察処分の変更が決定しました。今後も、オ

ウム真理教対策関係市区町連絡会による国への要請活動を継続するとともに、オウム真理教(アレフ)の早期解散に向けた対策を、より一層強化するよう求めます。

エリアデザイン調査特別委員会

本特別委員会は、安全・安心な区民生活の推進や区議会、区民、執行機関が一体となって対策を検討し実行するために、さらに議論を重ね、引き続き調査研究を続ける必要があります。



本特別委員会は、エリアデザインの推進等に関する調査研究を進めてきました。

各地域のエリアデザインについて

千住エリアは、シティプロモーションの中心として魅力を発信し、区のイメージアップを図る必要があります。各地域の課題を整理しながら計画を策定することを要望します。

綾瀬・北綾瀬エリアは、綾瀬駅前交通広場等の整備が実現に向かい、北綾瀬駅周辺も様々な課題解決に向けて動き出しています。今後、各ゾーンの役割を明確にし、連携した回遊性のあるまちづくりを要望します。

六町エリアは、六町駅前区有地の施設の整備等、まちの強みを活かしたエリアデザインを推進していくことを要望します。

本特別委員会は、子どもが

江北エリアは、今年度中の開院に向け事業が進んでいる東京女子医科大学附属足立医療センターを核として戦略的まちづくりの展開と周辺環境整備を着実に進めることを要望します。

花畑エリアは、文教大学が開

設し、毛長川護岸や花瀬橋の整備等も進んでいます。今後は、さらに魅力あるまちづくりを進めるとともに、積極的な大学連携等を要望します。

竹の塚エリアは、鉄道高架化

に合わせ、竹ノ塚駅東西が一体となった魅力あるまちづくりを推進することを要望します。

西新井・梅島エリアは、西新井駅西口駅ビル建て替えについて、引き続き東武鉄道との交渉を強く要望します。

また、西新井公園の都市計画変更や補助第255号線の整備について、地権者や地元住民への丁寧な説明を強く要望します。

本特別委員会は、建設的な議論をより一層重ね、調査研究を

続けていく必要があります。

会派役員の紹介

- 足立区議会自由民主党
 - 幹事長 工藤 哲也
 - 副幹事長 ただ 太郎
- 足立区議会公明党
 - 団 長 たがた 直昭
 - 幹事長 長井まさのり
 - 副幹事長 佐々木まさひこ
- 同
 - 吉田 こうじ
- 同
 - さの 智恵子

日本共産党足立区議団

- 団 長 ぬかが 和子
- 幹事長 はたの 昭彦
- 副幹事長 西の原えみ子
- 同 山中 ちえ子
- 足立区議会立憲民主党
 - 幹事長 鈴木 あきら
 - 副幹事長 おぐら 修平
- 同 銀川 ゆい子
- 足立区議会改革を全力で推し進める会
 - 幹事長 土屋 のりこ
 - 副幹事長 長谷川たかこ

編集後記

第2回臨時会では、議長・副議長の選出をはじめ、各委員会委員等の議会構成が変わりました。また、各会派役員変更に伴い、広報委員会の構成も変わりました。今度も、読みやすく、分かりやすい紙面づくりに努めます。

【広報委員会委員】

- (議 長) 古性 重則
- (副 議 長) 渕上 隆
- (議会運営委員長) 新井 ひでお
- 工藤 哲也 佐々木まさひこ
- ただ 太郎 ぬかが 和子
- 長澤こうすけ はたの 昭彦
- たがた 直昭 鈴木 あきら
- 長井まさのり 土屋 のりこ

「議員(候補等を含む。)からの寄附は、公職選挙法により、議員資格剥奪の罰則をもって禁止されています。」

たとえば、お祭り・運動会・親睦旅行会・会合等の行事や、入学式・卒業式の行事に対し、寄附・お祝い・差し入れ等をすることが禁じられています。

また、個人に対して、お祝い金(入学・卒業等)・贈り物(お歳暮・お中元等)をすることも禁じられています。

なお、例外的に罰せられない行為として、議員本人が持参する結婚祝い・香典があります。

区民の皆さまのご協力をよろしくお願い申し上げます。